

末広校区

◆校区の概況

(平成 17 年 3 月現在)

人口 ・ 世帯数	4, 8 5 1 人 ・ 2, 0 0 1 世帯
高齢者人口	9 2 8 人
高齢化率	1 9. 1 3 %
ひとり暮らし高齢者数	2 4 1 人
高齢世帯	1 7 9 世帯
主な校区活動場所	各町会館や団地集会所など
校区の特徴	支部ごとにさまざまな活動が行われています。ふれあいサロンや手芸教室、習字教室などの催しが開催されています。また、子どもの安全を守るために関係団体と合同会議を開催したり、校区安全パトロールに取り組んでいます。
地域福祉活動の状況	<ul style="list-style-type: none"> *小地域ネットワーク活動（個別支援・グループ支援） *末広小 6 年生児童高齢者交流会・1 年生児童高齢者交流会（世代間交流） *機関紙『すえひろ』発行と全戸配布 *ネット対象者交流会 *推進委員・協力員研修交流（岸和田学園） *人権ミニ集会 *社明ミニ集会 *新任ボランティア講座 *ネット対象者交流会 *誕生日祝訪問

末広地区福祉委員会

ネット対象者・個別・グループ支援活動・協力員一覧（16 年度報告より）

	個別支援活動			グループ支援活動		登録 協力員	
	ネット数	延べ回数	延べ人数	回数	参加者内訳		
					対象者数		関係者数
東羽倉崎南町	2 4	7 0 0	2 2 3 6	2	5 7	2 1	1 6
東羽倉崎町	9	4 3 9	1 0 0 1	5	6 5	3 7	1 4
長滝第一住宅	0	0	0	4	7 0	3 4	1 2
新安松町	9	2 4 7	5 5 2	8	1 4 8	7 9	1 2
新羽倉崎町	1 3	2 9 6	5 2 2	2 6	2 9 9	2 1 5	2 2
末広地区（全体）				3	3 0 7	6 8	1
合計	5 5	1 6 8 2	4 3 1 1	4 8	9 4 6	4 5 4	7 7

◆検討会の開催状況

開催日	平成16年12月19日(日)	開催会場	東羽倉崎南町集会所	参加人数	32人
<p><主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 団地の出入口の階段が、高齢者にとって危険 ● 一人暮らしのお年寄りにもっと目配りを ● 児童の登下校の安全見守りを拡大 ● 夜、自動販売機前で青少年がたむろして怖い ● 障害者福祉等の情報が市の広報以外で得にくく、少ない <p>～高齢者の問題や子どもの問題も出されましたが、地域住民のマナー向上についての意見も多く出されました。女性は日頃から顔を合わす機会が多いので直接注意しにくいという意見が多く、男性は直接話しあうほうがよいという意見が多くなっています。また、参加者に自治会や子ども会の役員など問題意識の高い人が多く活発な意見交換がされ、活気のある検討会となりました。～</p>					



◆ワークショップの内容について（検討会での意見交換の中から、一例を紹介します）

地域の中で、問題と思うこと

- 一人暮らしの高齢者にもっと目配りをしたほうがよいのでは？

- 団地の入り口が階段になっており、高齢者は大変
- 階段に車椅子用の昇降リフトをつけられないか

- 地域内での交流をどのように進めればいいのか

- 子どもたちの安全について、よその地区よりパトロールが少ないのではないか
- 地域全体で、子どもの安全に関心をもってほしい

解決するには…

近所で顔を見ないなと思ったらすぐに、声をかけに家までいくなど、地域での見守りを徹底する

リフトなどの設置もよいが、まず困っていることを近所の人に話して協力してもらう体制を作るなど、支え合いを考えることが大切ではないか

会議を開いたり、慰労会を開くなど、催しの回数を増やす

何らかの機会を捉えて、子どもに関心を持つようPRする